1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 22 年 5 月 17 日

【事業所概要(事業所記入)】

事	業	所	番	号	4270202700			
法		人		名		有限会社 エクセ	ル	
事	業		所	名	2	グループホームあたご		
所		在		地	〒858-0918 長崎県佐世保市相浦町 138-2			
自	己評	価	作	成日	平成22年2月13日	評価結果市町受理日	平成 22 年 5 月 26 日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

【評価機関概要 (評価機関記入)】

評	価	機	関	名	特定非営利活動法人 医療・福祉ネットワークせいわ
所		在		地	〒840-0015 佐賀県佐賀市木原二丁目 6 番 5 号
訪	問	調	査	日	平成 22 年 3 月 30 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

- ・ 気候や天気がいい日は毎日散歩に出かけている
- ・ 入居者のみなさんが提案されたイベントや外食する機会を出来る限り設けている

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

その時々の職員の悩みや課題をいち早く把握し、機を逃さずその悩みや課題に応じた勉強会や面談が行われています。それらの取り組みを含め施設長のリーダーシップは様々な場面で発揮されており、職員の意思統一や理念の共有がなされています。 入居者の家族とも良好な関係が築かれており、家族により行事の様子を撮られたビデオを入居者、家族及び職員皆で観るなどの取り組みもうかがえます。

また、退居された入居者の写真を以前一緒に暮らした人として、そのままにしておいて欲しいという入居者の希望に添うなど、様々な事柄に柔軟に対応され、ホーム内は温かな雰囲気が漂っていると感じられます。

1 自己評価及び外部評価結果

自	外		自己評価	外部	評価
三評価	部評	項 目	実施状況	実施状況	次のステップ に向けて期待 したい内容
	I	理念に基づく運営			
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏ま えた事業所理念をつくり、管理者と 職員は、その理念を共有して実践に つなげている	「緒と念で環現をさい、というとは、まののでは、まののでででででででいる。」のは、まののでは、まののででは、まののででは、まののでは、まののでは、まのでは、ま	理念はれ、になるは、、施設内のはないでは、、、、にはないではないでは、ではないでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、できない。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域との関係は共の関係は共るとの関係とえるという。 対ので、地名をがいて、 関係でいる。 がで、進度とながのでは、 での連びをでいる。 がでいる。	町内清掃のはいまか、 がはないが、 がはないが、 がはないが、 がはないが、 がはないが、 がはないが、 がはないが、 がいますが、 でいますが、 でいまが、	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げ ている認知症の人の理解や支援の方 法を、地域の人々に向けて活かして いる	運営推進会議の 際、生生の方者を表している。 と生の方者を、は ののでは のでは のでは でいれる でいれた でいる でいる でいる。 でいる。		
4	ဘ	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサー ビスの実際、評価への取り組み状況 等について報告や話し合いを行い、 そこでの意見をサービス向上に活か している	実績報告や事項に を 毎回報告し、 ので報告を 毎回報告の のででした。 を がられたさい。 のではいまでは、 のではいる。 のではいる。 のではいる。 のではいる。 のではいる。	家族、 家族、 家族、 を療機関なか を療され類度する に1回れ でのは でのは でのは でのは でのは でのは でのは でのは	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に 取り、事業所の実情やケアサービス の取組みを積極的に伝えながら、協 力関係を築くように取り組んでいる	佐世保説に 住世代説に に に に に に に に に に に に に に	市との関わりは、 運営性要にを が、報道にたいまで、 がますででいます。 であるではないまた、 「あたへけいまではないます。 もか、 はないます。	

6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体カスを 増工でを が、でいる が、でいる がいる。	マニュス・スティンを表している。これでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、は、大きないでは、は、は、いいでは、は、いいでは、は、いいでは、いいでは、いいでは、いい	次のステップとして、内外の研修に計画的に取り組み、更なる職員の育成にことを期待します。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止 法等について学ぶ機会を持ち、利用 者の自宅や事業所内での虐待が見過 ごされることがないよう注意を払 い、防止に努めている	定会とは、おりますのは、とのでは、とのでは、とのでは、とのでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、ないでは、ない		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支 援事業や成年後見制度について学ぶ 機会を持ち、個々の必要性を関係者 と話し合い、それらを活用できるよ う支援している	研修参加等の 学ぶ機会を設けて現在、成年 後見して、成活 用者がいる)		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際 は、利用者や家族等の不安や疑問点 を尋ね、十分な説明を行い理解・納 得を図っている	契独に できない かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい か		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の 反映 利用者や家族等が意見、要望を管 理者や職員並びに外部者へ表せる機 会を設け、それらを運営に反映させ ている	家ケしをさケ反るめ、たり、大きを・しまなが、大きなながでである。で、ままが、たいには、ままが、たいには、ないには、ないには、ないには、ないには、ないには、ないには、ないには、な	年に2回の家になった。 いたコン苦めまれにヨン苦めまれにヨン苦めまれにヨン苦めまれたコン苦めまれたコン苦めまれたコン苦めまれたコン苦めまれたコン苦めまれれい。 いき でき はい	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する 職員の意見や提案を聞く機会を設 け、反映させている	定 デース で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	施設長り、 をとり、 ではいいでは をしたがいます。 をいいでは ではいいでは ではいいでは ではいいでは ではいいがいない。 ではいいがいないがいない。 ではいいがいないがいない。 ではいいがいないがいない。 ではいいがいないがいない。 ではいいがいない。 ではいいがいない。 ではいいがいない。 ではいいがいない。 ではいいがいない。 ではいいがいない。 ではいいがいない。 ではいいがいない。 ではいいではいいがいる。 ではいいではいいがいる。 ではいいではいいがいる。 ではいいではいいがいる。 ではいいではいいではいいがいる。 ではいいではいいではいいがいる。 ではいいではいいではいいがいる。 ではいいではいいではいいがいる。 ではいいではいいがいる。 ではいいではいいがいる。 ではいいではいいがいる。 ではいいではいいがいる。 ではいいではいいがいがいる。 ではいいではいいがいがいる。 ではいいではいいがいいがいがいる。 ではいいがいがいる。 ではいいがいがいる。 ではいいがいがいる。 ではいいがいがいる。 ではいいがいがいる。 ではいいがいがいる。 ではいいがいがいがいがいがいがいる。 ではいいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいる。 ではいいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがい	

		and the state of t	1	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	本年をきからいた。本年をものでは、本年をは一年のでは、本年をでは、本年のでは、本年のでは、本年のでは、本年のでは、大学のは、大学のでは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひと りのケアの実際と力量を把握し、法 人内外の研修を受ける機会の確保 や、働きながらトレーニングしてい くことを進めている	定期的に、 で開催し、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者 と交流する機会をつくり、ネット ワークづくりや勉強会、相互訪問等 の活動を通じて、サービスの質を向 上させていく取組みをしている	グルーでは、	
	Π	安心と信頼に向けた関係づくりと支援		
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階 で、本人が困っていること、不安な こと、要望等に耳を傾けながら、本 人の安心を確保するための関係づく りに努めている	訪問、面談を行い利 用者、民生歩りに 大人、いた世当報と 大会の担当報と 大会の担当報と 大会のでは 大学のでは 大学のでは 大学ののよう 大学ののよう 大学ののよう に 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階 で、家族等が困っていること、不安 なこと、要望等に耳を傾けながら、 関係づくりに努めている	入居を申し込みに いたっに等れる 中経経支の を を たの を が 、 こ な に の ら の ら り い ま の ら り い ま の ら り り り い る り り り い る り り り い っ て り り し っ し っ し る り ら り ら り ら り ら り ら り ら り ら り ら り り ら り り ら り り り ら り り り り ら り り り り ら り	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階 で、本人と家族等が「その時」まず 必要としている支援を見極め、他の サービス利用も含めた対応に努めて いる	相しやいホらのいたが、必る一ずアため、水のでは、水のでは、水のでは、水のでは、水のでは、水のでは、水のでは、水のでは	

18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の 立場に置かず、暮らしを共にする者 同士の関係を築いている	歩んで来られた歴史や で 境、ご家族・親族・かちした 等への気持ちを生態史を大 が、日々一新しい情を出すを は、でな感情・活動を生態である。 は、でない。 は、でない。 は、でない。 は、でない。 は、では、 は、がらい。 は、は、 は、がらい。 は、は、 は、がらい。 は、がらい。 は、がらい。 は、がらい。 は、は、 は、がらい。 は、は、 は、は、 は、は、 は、は、 は、は、 は、は、 は、		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の 立場に置かず、本人と家族の絆を大 切にしながら、共に本人を支えてい く関係を築いている	月に、ないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	る。訪問された方に も、事前にお電話を いただき外出しを ないか等の確認を でいただき、継続的 な関係づくりを支援	地域に出かけたり、ホールはに出かけたり、ホールや居室で友人の会話を楽します。またいまではままが、ホームとって、大居者に所となるよう	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人 ひとりが孤立せずに利用者同士が関 わり合い、支え合えるような支援に 努めている	それでは、それでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、こ		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了して も、これまでの関係性を大切にしな がら、必要に応じて本人・家族の経 過をフォローし、相談や支援に努め ている	「 て で で で で で で で で の を 契 が の も も の を の を 契 が の も も あ れ も も も も も も も も と と も も も と と も も と も も と も も と も も と も も も も も も も も も も も も も		
23	III	その人らしい暮らしを続けるためのケア ○思いや意向の把握	1 早前の関き取りや		
23	9	○思いや息向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難 な場合は、本人本位に検討してい る。	生活をしていかれる、 での対は活の中から、 個々の中から、 個々の生活を整理した。 のパター限り希望して、 を記して、 きない。 は、 を記して、 きない。 をない。 をない。 をない。 をない。 をない。 をない。 をない。 を	ントや入居後の入居者とのコミュニケーションの中で 音向が把握され	

24		○これまでの暮らしの把握一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居と 大居後 大居後 大田ののに加たが 大田ののに加たから 大田を 大田を 大田を 大されたが 大は 大田を 大い 大は 大い 大い 大い 大い 大い 大い 大い 大い 大い 大い		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心 身状態、有する力等の現状の把握に 努めている	個々の能力幕に を生らした が出来ることを を生いない を変化に を変化に を変化に を変化に で終した でが出れ での でが出れ でがいる。 は、 でがいる。 は、 でがいる。 は、 でがいる。 でがい。 でがいる。 でがい。 でがいる。 でがいる。 でがいる。 でがいる。 でがいる。 でがいる。 でがいる。 でがいる。 でがい。 でがいる。 でがいる。 でがいる。 でがいる。 でがいる。 でがいる。 でがいる。 でがいる。 でがいる。 でがいる。 でがいる。 でがいる。 でがいる。 でがいる。 でがいる。 でがいる。 でがいる。 でがいる。 でがい。 でがいる。 でがいる。 でがい。 でがいる。 でがいる。 でがいる。 でがい。 でがい。 でがい。 でがい。 でがい。 でがい。 でがいる。 でがい。 でがしが、 でがい。 でがしが、 でがしが、 でがしが、 でがい。 でがしが、		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタ リング 本人がより良く暮らすための課題 とケアのあり方について、本人、家 族、必要な関係者と話し合い、それ ぞれの意見やアイディアを反映し、 現状に即した介護計画を作成してい る	定期的な加え、 を状況を を状況を を状況を を状況を を思いて には報告を をいて に応じて でのじじ 関係で介いて 関係で介いる。	計画に 一部では 一部では 一部では 一部では 一部では 一部では 一部では 一部では 一部では 一部では 一部で 一部で 一部で では では では では では では では では では で	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、 気づきや工夫を個別記録に記入し、 職員間で情報を共有しながら実践や 介護計画の見直しに活かしている	日常生活の変化に気変人の録人の録を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を記述を		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の 多機能化 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の 要望に柔軟に 対応出来るよ うに努めてい る。		
29		○地域資源との協働一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティのかかれた。それでは、大学学でである。・対のでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、できるが、できるが、できるが、できるが、できるが、できるが、できるが、できるが		

30	11	○かかりつけ医の受診診断	長年のかかりつけ医を引	入居者の状態に応	
		受診は、本人及び家族等の希望を 大切にし、納得が得られたかかりつ	き継ぎ、入居前の健康診 断や医療情報を提供して いただき、健康状態を把	じた週1~2回の 往診と月1回の定 期的な往診が行わ	
		け医と事業所の関係を築きながら、	握出来るように努めてい る。また、医療連携体制	れています。専門	
		適切な医療を受けられるように支援 している	をとっており、協力医が かかりてけ医でない場合 も、協力医に医療情報を	医への通院は基本的に家族が対応さ	
			提供している。希望があ れば、協力医への主治医	れ、診察の結果な ど電話や文書によ	
			変更等の支援もしている。	る情報交換が行わ れています。	
31		○看護職員との協働	医療連携体制をとって		
		介護職員は、日常の関わりの中で とらえた情報や気づきを、職場内の	おり、定期的な看護師 の訪問がある。日々の		
		看護職員や訪問看護師等に伝えて相	細かな変化を相談し、訪問看護師や医師から		
		談し、個々の利用者が適切な受診や 看護を受けられるように支援してい	のアドバイスや必要に 応じて受診等の指示を いただける。利用者の		
		る	変化がある場合、アドバイスを受けている。		
20		○↑温陀吽の医療機関しの物質	入院された時には介護	/	/
32		○入退院時の医療機関との協働利用者が入院した際、安心して治	サマリー用意し、入院 機関の医師・看護師・		
		療できるように、また、できるだけ	ソーシャルウォーカー等と、入院された方の		
		早期に退院できるように、病院関係 者との情報交換や相談に努めてい	不安や苦情を最小限に おさえられるように情		
		る。又は、そうした場合に備えて病 院関係者との関係づくりを行ってい	報を交換行っている。 定期的に訪問し早期退		
		院関係有るの関係 フマザを打りている。	院出来るように、他の 入居者・職員の愛のパ ワーを注入している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有) ELINOCVID.	/	
		と支援	日頃から入居	契約時に方針を	
		重度化した場合や終末期のあり方 について、早い段階から本人・家族	者・家族・職 員・関係機関	明確にされ、家 族からの同意も	
		等と話し合いを行い、事業所ででき	と繰り返し話	得られていま す。職員研修に	
		ることを十分に説明しながら方針を 共有し、地域の関係者と共にチーム	し合いの機会 を設けてい	より職員の不安解消にも努めら	
		で支援に取り組んでいる	る。	れています。	
34		○急変や事故発生時の備え利用者の急変や事故発生時に備え	定期的な研修や		
		て、全ての職員は応急手当や初期対	協力医からの対 応方法等を学		
		応の訓練を定期的に行い、実践力を 身に付けている	び、すべての職員が事故発生時		
		23.1-13.7 C. D	に速やかに対応		
			出来るように努 めている。		
35	13				/
	10	火災や地震、水害等の災害時に、	マニュアルの整備 と定期的な訓練に	夜間想定も含め、年に4回の避難訓練が	
		昼夜を問わず利用者が避難できる方 法を全職員が身につけるとともに、	て、入居者・職員 の意識を高めてい	行われています。近隣からは「避難の際	
		地域との協力体制を築いている	る。「となり組」として近隣の皆さ	には協力します。」との声も頂かれてお	
			んの協力が得られるように目頃から	り、備蓄についても水と乾物を中心に4	
			働きかけている。	~5日分が準備され ています。	

	IV	その人らしい暮らしを続けるための日々	· の支援		
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個重に のし、 のし、 のし、 をにうる。 をにうる。 をにうる。 ではいよのいでは ではいまのいでで ではいまのいで ではいまので ではいまのいで ではいないで ではいまのいで ではいまのいで ではいないで ではい	人格をいたでは 事でにわれるので 事でにわれるので 事で得が、 で得が、 で得が、 で得が、 で得が、 ではいいが、 ではいいが、 ではいいが、 ではいいが、 ではいいが、 ではいいが、 ではいいが、 ではいいが、 ではいいが、 ではいいが、 ではいいが、 にいが、 に	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望 を表したり、自己決定できるように 働きかけている	ご本人の希望や表現を 大切に関すると 大切に要すると を も は は き り は り は り は り る よ り る ま た 、 る 方 に る が が ら 、 る 方 た 、 る 方 た 、 る た た っ し し っ し っ し っ し っ し っ し っ し っ し っ		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先する のではなく、一人ひとりのペースを 大切にし、その日をどのように過ご したいか、希望にそって支援してい る	可能なの分でである。 での分でである。 での分でである。 でのかでである。 でのかでである。 でのかでである。 でのかでである。 でのかでである。 でのかでである。 でのかでである。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	近隣の理髪店のみく はなるででは 当初はいれる 当初はれる で がかれる がいれる で がいた がいた がいた で がいた で の で で で で で で がいた で がいた で がいた で がいた で がいた で がいた で がいた で がいた で がいた で がいた で がいた で がいた で がいた で がいた で がいた で がいた で がいた で がいた で がいた がいた で がいた がいた がいた がいた がいた がいた がいた がいた がいた がいた		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、 一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	そかける。 を 力 り、 で まかけいて かい で は は は がい で で ま がい で ま がい で ま がい で かい で で かい で で かい で かい で かい で かい で	食材、い物にこ類荷ら、とる 大は居者とを表れている。 は居者とを表れている。 は居者となる。 はたる。 はたる。 はた、は、は、は、は、と、ない。 は、い物のした。 は、い物のした。 は、い物のした。 は、い物ののに、と、ない。 は、い物ののに、と、ない。 は、い物ののに、と、ない。 は、い物ののに、と、ない。 は、いかのに、と、ない。 は、いかのに、と、ない。 は、いかのに、と、ない。 は、いかのに、と、ない。 は、いかのに、と、ない。 は、いかのに、と、ない。 は、いかのに、と、ない。 は、いかのに、と、ない。 は、いかのに、と、ない。 は、いかのに、と、ない。 は、こ、ない。 は、こ、ない。 は、いった。 は、いった。 は、いった。 は、こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ、こ	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量 が一日を通じて確保できるよう、一 人ひとりの状態や力、習慣に応じた 支援をしている	主治医の健康場合にに 個々の健康事量を 心に を を を を を を を を を を を を を を を を を を		

T	1				
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態 や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食前のうがい と毎食後口腔ケ ア、義歯のかた は眠前に洗浄剤 にて消毒を施行 している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減ら し、一人ひとりの力や排泄のパター ン、習慣を活かして、トイレでの排 泄や排泄の自立に向けた支援を行っ ている	それぞれの排泄のパニタリングとし、排泄を入居をとし、非性でのたにかったが行った非性である。各居を関する。各居を対して、失いないがある。と、はないがある。と、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	各居室にはトイイを にはいま を開わる では、排出 を用いる が大力 を が が を が が が が を が が が が が が が が が が	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解 し、飲食物の工夫や運動への働きか け等、個々に応じた予防に取り組ん でいる	毎日の散歩・水分 の食事や水け、 裏に頼便でいる。 がずるよでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに 合わせて入浴を楽しめるように、職 員の都合で曜日や時間帯を決めてし まわずに、個々に応じた入浴の支援 をしている	て、日曜日以外は	毎日おはこれ、入窓の をはない。 をはないのでは、 のでは、	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安心 して気持ちよく眠れるよう支援して いる	「よくな 食べるしまない がを歩いた はないに がなります。 はないで はないで がは はないで がに はない がで がで がで がで がい がで がい がっ に がっ に がっ に がっ に がっ に がっ に がっ に が		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目 的や副作用、用法や用量について理 解しており、服薬の支援と症状の変 化の確認に努めている	薬に対する意識は 高く、副作用・用 途を出来る限開 握し、新しく開 始・中過をしれた際 には経察し、記録に 残すように心がけ ている。		

48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ご せるように、一人ひとりの生活歴や 力を活かした役割、嗜好品、楽しみ ごと、気分転換等の支援をしている	個々の生活歴を大での新しいが「私書」のは、 の新しいが「私書」のおおり、 おりが、出いを持ち場がでいたが、 生活していか。 とている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に 努めている。また、普段は行けない ような場所でも、本人の希望を把握 し、家族や地域の人々と協力しなが ら出かけられるように支援している	入居者のみな「花を別いに行きのいたででである。 を買いに行りのででは、100に行うのでである。 いったでは、100にでは、100にできた。 いったでは、100にできた。 というできた。	ほぼ全掛けること 量があること はは世とをます、遠ないは をます、遠なが出を をはが出ます。 はな外はます。 はないます。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの 大切さを理解しており、一人ひとり の希望や力に応じて、お金を所持し たり使えるように支援している	可能な意とないなった。 が関連して、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 でいるが、 をいなった。 でいるが、 でいるが、 とて、 でいるが、 とて、 でいるが、 をいなった。 でいるが、 で		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話 をしたり、手紙のやり取りができる ように支援をしている	ご本人の希望に 応じて電話を取 り継いだり、手 紙を出しに行っ たりしている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、 台所、食堂、浴室、トイレ等)が、 利用者にとって不快や混乱をまねく ような刺激(音、光、色、広さ、温 度など)がないように配慮し、生活 感や季節感を採り入れて、居心地よ く過ごせるような工夫をしている	ソフトではいる。というでは、大きないりくの居立のでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こ	共用の居間や玄心 関などにソファ 地の良い自っるで を置にくって います。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	それでない。 それでのでは、 それでのでは、 それでのできれて、 のできれででいる。 をびいでは、 ででいれている。 ででいる。 ででいる。		

54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本 人や家族と相談しながら、使い慣れ たものや好みのものを活かして、本 人が居心地よく過ごせるような工夫 をしている	出来の特別を持くいます。思りを持くいというでは、思いのでは、いのでは、いのでは、からないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、	************************************	慣ただった。 まないはんにないはんにないないは、 まないでは、 まないでは、 まないでは、 まないでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な 環境づくり建物内部は一人ひとりの「できる こと」や「わかること」を活かし て、安全かつできるだけ自立した生 活が送れるように工夫している	それぞれに生かせる日 最大限個々ををといる。 生きように失敗でも、 といる。またた時にを安心である。 かに落ける。 かに落ち着るよういただ 境がでいる。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 であ	よ番でて乱速し関		
	V	アウトカム項目				
	此小	引用者の用いめ磨い。 黄さて十つき	を向か掘)へ		1, ほぼ全て	の利用者の
E C	戦り	員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意	即を掴んじ	:	2, 利用者の2	2/3くらいの
96		ン。 参考項目:23, 24, 25)			3. 利用者の	1/3くらいの
	(=	<i>∞与</i> ·复日 . 23, 24, 23 <i>)</i>		4	4. ほとんど	掴んでいない
					1, 毎日ある	VI
	手门	用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面	iがある ト		1, 母目の 2, 数日に1回	司程度ある
57	(÷	71年と城員が、間に呼りたりと過ごり場間 参考項目:18,38)		3. たまにある		
	(%	多为·复日 . 10, 50/				_
					<u>4. ほとんど</u>	
					1, ほぼ全て	
58	利力	用者は、一人ひとりのペースで暮らしてレ	いる。	0 :		2/3くらいが
	(2	参考項目:38)				1/3くらいが
				4	4. ほとんど	いない
	<i>-</i> 7.11) 1 de lete d		1, ほぼ全て	の利用者が
		用者は、職員が支援することで生き生きと	こした表情や			2/3くらいが
59	- •	がみられている			3. 利用者の	
	(2	参考項目:36,37)			4. ほとんど	
					1. ほごんこ 1. ほぼ全て	
	利用	用者は、戸外の行きたいところへ出かけて	- _W		,	2/3くらいが
60	(ž	8考項目:49)				1/3くらいが
	(=	2 · 1 · 10)			<u>3. 柄加油の</u> 4. ほとんど	
					4. はこんこ 1, ほぼ全て	
	利力	用者は、健康管理や医療面、安全面で不多	そなく過ごせ			
61	てし	いる。	-			2/3くらいが
	(💈	参考項目:30,31)	-			1/3くらいが
-					<u>4. ほとんど</u>	
	利用	用者は、その時々の状況や要望に応じた柔	を軟な支援に		1, ほぼ全て	
		り、安心して暮らせている。	、M·S 人 IX (-)		2, 利用者の	
		参考項目:28)				1/3くらいが
	1,3	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			4. ほとんど	_
	此上	員は、家族が困っていること、不安なこと	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		1, ほぼ全て	の家族と
		■は、豕族が困つていること、小女なこと ことをよく聴いており、信頼関係ができて	•	7:	2, 家族の2/2	3くらいと
100		_ こをよく嘘いてねり、信頼関係ができて 参考項目:9, 10, 19)	. v . つ。		3. 家族の1/3	3くらいと
	(グウヴロ · 3, 10, 13/		4	4. ほとんど	できていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が 訪ねて来ている。 (参考項目:9,10,19)	1, ほぼ毎日のように ○ 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○ 1,大いに増えている 2,少しずつ増えている 3.あまり増えていない 4.全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目:11,12)	○ 1, ほぼ全ての職員が2, 職員の2/3くらいが3. 職員の1/3くらいが4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての利用者が2, 利用者の2/3くらいが3. 利用者の1/3くらいが4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満 足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

1 自己評価及び外部評価結果

自	外		自己評価	外部	評価
己	部評	項目	実施状況	実施状況	次のステップ に向けて期待 したい内容
	Ι	理念に基づく運営			
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏ま えた事業所理念をつくり、管理者と 職員は、その理念を共有して実践に つなげている	「はない」では、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、ないでは、またのでは、はないでは、はないではないでは、はないではないが、は、はないでは、はないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域と、関係は共るの関係は共るの関係と共名の関係と共名の関係と共名のの事件がい連なをがが明確を表示が明確を表示が明確を表示が、の事中がある。を表示を表示が、の事を表示を表示が、の事を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げ ている認知症の人の理解や支援の方 法を、地域の人々に向けて活かして いる	運営推供 生委長、 会議長、 会会長、 の方者者を を大力のを があれたがでいたがいたがいたがでいたがでいたがでいたがでいたがでいたがでいたができた。 は、 は、 の民間活え談談のへいる。 と、 は、 の民間活え談談のへいる。 と、 は、 のに、 のに、 のに、 のに、 のに、 のに、 のに、 のに		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサー ビスの実際、評価への取り組み状況 等について報告や話し合いを行い、 そこでの意見をサービス向上に活か している	実績報告やホームを での報告を毎回また、事項に を毎回また、事項に を質した事項に がられたされるよう は、まり に努める。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に 取り、事業所の実情やケアサービス の取組みを積極的に伝えながら、協 力関係を築くように取り組んでいる	佐世保主催の研修や説明会に加 積極的に参加し、長寿経会化 (長寿等)のを発 (長妻課のでは (長妻は (大きないでは (大きないと (大きないと (大きない)) (大きない)) (大きない) (大きない) (大きない)) (大きない) (大きない)) (大きない) (大きない)) (大きない) (大きない) (大きない)) (大きない) (大きない) (大きない) (大きない)) (大きない)		

6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体カスター 身体がある が、でいる が、でいる が、でいる が、でいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止 法等について学ぶ機会を持ち、利用 者の自宅や事業所内での虐待が見過 ごされることがないよう注意を払 い、防止に努めている	定期的に勉強といいでは、といいでは、といいでは、ないけいに、ないけいに、ないけいに、できる。は、ないがいに、ないがいに、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支 援事業や成年後見制度について学ぶ 機会を持ち、個々の必要性を関係者 と話し合い、それらを活用できるよ う支援している	研修参加等の 学ぶ機会を けている。 (現制して 後見して がいる)	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際 は、利用者や家族等の不安や疑問点 を尋ね、十分な説明を行い理解・納 得を図っている	契約ののしい ない かい	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の 反映 利用者や家族等が意見、要望を管 理者や職員並びに外部者へ表せる機 会を設け、それらを運営に反映させ ている	家ケしをさケ反るめ、	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する 職員の意見や提案を聞く機会を設 け、反映させている	定期かないでは、 では、 では、 ででで、 ででで、 でで、 でで、 でで、	

_		F	1	1	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	本者が見まり受いた。大は、本者が、一、大学をは、一、大学をは、一、大学をは、一、大学をは、一、大学をは、一、大学をは、一、大学をは、一、大学をは、一、大学をは、一、大学をは、一、大学をは、一、大学をは、大学をは、大学をは、大学をは、大学をは、大学をは、大学をは、大学をは		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひと りのケアの実際と力量を把握し、法 人内外の研修を受ける機会の確保 や、働きながらトレーニングしてい くことを進めている	定期的に 研覧 はいい で 関係 はいい で い で い で い で い で い で い で い で が き で で を で で を で で を で で き で と の で い で が き で で き で と で い で い で と で と で と で い で い で と で い で い		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者 と交流する機会をつくり、ネット ワークづくりや勉強会、相互訪問等 の活動を通じて、サービスの質を向 上させていく取組みをしている	グループホーム協議会や 介護支援専門員研修にも 積極的参加し、同業者の 情報交換を行っている。 近隣のグループホームと 風船バレー大会を行った りイベントに誘っていた だいたり、地域のグルー プホームとの交流は積極 的に行っている。		
	П	安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階 で、本人が困っていること、不安な こと、要望等に耳を傾けながら、本 人の安心を確保するための関係づく りに努めている	訪問、面談を行い利 用者、民生を決していた。 大、で、利用 していた。 大、利用 となるの担当報となるのでである。 である。 である。 は、このでは、 のので、 のので		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階 で、家族等が困っていること、不安 なこと、要望等に耳を傾けながら、 関係づくりに努めている	入居を申し込みに いたっち等に いたっち等に に いたの等に が いたの いたの いる いたの いる いたの いる いたの いる いる いる いる いる いる いる いる いる いる いる いる いる		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階 で、本人と家族等が「その時」まず 必要としている支援を見極め、他の サービス利用も含めた対応に努めて いる	相談内容を把握し、不安の解消や 必要とされている サービスをずいる 内に留まアドバる スをいただけるよ		

18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の 立場に置かず、暮らしを共にする者 同士の関係を築いている	歩んで来られた歴史や交人 境、で来られた歴史や交人 境、ご家焼・我族・かちに 気を力をおり、日本の一部では、 い、日本でな感がしていく、 は、日本でな感がしている。 き、るようにや畑仕割りも、 また調理方法とに、 は働かすることに、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の 立場に置かず、本人と家族の絆を大 切にしながら、共に本人を支えてい く関係を築いている	月に一度の近流報告にホー度の面をはない。 を、面をはないできた。 あった個とのがいるできた。 なあやハブニングらをはないです。 え、ご家族等をゆった。 エピソーく、うきでいたっしょいだっしょいただけな力的でいたがはないでいる。 どのことがいるがでいたがいっしゃいます。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	以前へいで大切では、大いで、大いで、大いで、大いで、大いで、大いで、大いで、大いで、大いで、大いで	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人 ひとりが孤立せずに利用者同士が関 わり合い、支え合えるような支援に 努めている	それでは、それでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、こ	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了して も、これまでの関係性を大切にしな がら、必要に応じて本人・家族の経 過をフォローし、相談や支援に努め ている	「 て で で で で で で で の を 契 が の も も の を の を の の を の の の を の の の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も の の の の の の の の の の の の の	
23	Ⅲ 9	その人らしい暮らしを続けるためのケア 〇思いや意向の把握		
		一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居前の聞き取りや、での 活をしていかれる中々の生 対話の中等らしのでの生 を把握しるのよるに、 空に添え分のきない。 できなりない。不安 を表するように努めて を表するように努めて を対し、努めて を対し、努めて を対し、ア安して、 を表するように努めて いる。	

24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の面談や入 居後のアセスメン トに加え、面会さ れた友人・親族か らも生活歴やよ 品を聞き取るよ に努めている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心 身状態、有する力等の現状の把握に 努めている	個々の能力を生ら を生らした が出来ることを をはました。 を活した。 を活した。 をが出来が、で をがいた。 でのでは、で をでいれいで、で をでいれいで、で をでいれいで、で をでいる。 はいまる。	
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタ リング 本人がより良く暮らすための課題 とケアのあり方について、本人、家 族、必要な関係者と話し合い、それ ぞれの意見やアイディアを反映し、 現状に即した介護計画を作成してい る	定期的な加え、 を 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、 気づきや工夫を個別記録に記入し、 職員間で情報を共有しながら実践や 介護計画の見直しに活かしている	日常生活の変化に気変化の最大のな人の録べいのない。 第1年では、一次ののでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の 多機能化 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の 要望に柔軟に 対応出来るよ うに努めてい る。	
29		○地域資源との協働一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアや体 験学習の受け入れ を積極的に行い、 交流にまたいる。 警察等にもけ、活 関と働きを報告してい る。	

			Total Control	
30	11	○かかりつけ医の受診診断受診は、本人及び家族等の希望を 大切にし、納得が得られたかかりつ け医と事業所の関係を築きながら、 適切な医療を受けられるように支援 している	長年のかかりつけ医を見き継ぎ、大学のでは、 を終ぎ、入情報を提供態を いただ疾が、 大情報を提供態を いただ疾が、 をとうでは といただおりて といっただおりににを をとってけいかがない。 ないながは をとってけいでは ないながいない。 をといっただい。 ないないがいない。 ないないでは ないないでは ないないでは ないないでは ないないでは ないないでは ないないでは ないないでは ないないでは ないないでは ないないでは ないないでは ないないでは ないないでは ないないでは ないないでは ないないでは ないな ないでは ないが ないが ないでは ない ないが ないが ないが ないが ないが ないが ない	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中で とらえた情報や気づきを、職場内の 看護職員や訪問看護師等に伝えて相 談し、個々の利用者が適切な受診や 看護を受けられるように支援してい る	医療連携体制をとっており、定期的な看護師のなう。 定期的な看護師の訪問がある。日々の細かな変化を相談し、訪問看所や医師のでいたでで受診の指示をいただける。 利者の変化がある場合、アドバイスを受けている。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された時には介護サマリー用意して、入院機関の医師・フストの機関の医師・ソー等をサーカー等と、入院された方のおさえらでは、大院されたないでは、大院されてはないでは、大院されては、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学で	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	日頃家族機とした。というでは、日頃家族のでは、一般のでは、一般のでは、日本のでは、日	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え て、全ての職員は応急手当や初期対 応の訓練を定期的に行い、実践力を 身に付けている	定期的なから学の がある学の がある学の が事をでの が事かない が事かない が事かない がまない がもない がもない がもない がもない がもない がもない がもない がもない がもない がもない がもない がもない が がもない がもない がもない がもない がもない がもない がもない がもない がもない がもない がもな	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、 昼夜を問わず利用者が避難できる方 法を全職員が身につけるとともに、 地域との協力体制を築いている	マニュアルの整備と定、入職にて、入職にて、入職をといる。「では力がはいい。」として、大政のといるようには力がはいいるようにはない。働きかけている。	

	IV	その人らしい暮らしを続けるための日々	· の支援	1
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個重応心ケはや言に行の、来けてにみのいまけるのでは、本はないよのいでは、をいいなのいでは、をいいなのいでは、をいいなのいでである。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望 を表したり、自己決定できるように 働きかけている	ご本人の希望や表現を 大切に関すると 大切に要すると を も は は き り は り は り は り る よ り る ま た 、 る 方 に る が が ら 、 る 方 た 、 る 方 た 、 る た た っ し し っ し っ し っ し っ し っ し っ し っ し っ	
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先する のではなく、一人ひとりのペースを 大切にし、その日をどのように過ご したいか、希望にそって支援してい る	可能なの分せである。 での分せである。 での分せである。 でのかしたのでは、 でのからである。 でのからである。 でのからである。 でのからである。 でのからである。 でのからである。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃ れができるように支援している	近隣の理髪店のみなさして下さればり、 なさればり、 として下り、 といるはいれば、 ではいれば、 では、 である。 である。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、 一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	その方の間に おり、 では では では では では では では では では では	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量 が一日を通じて確保できるよう、一 人ひとりの状態や力、習慣に応じた 支援をしている	主治医の健康 個々の健康事を を を を を を を が を が を の の の の の の の の の の の の の	

T			T	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態 や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食前のうが いと毎食養 たかたは の に 洗浄剤に に 消毒を ある。	
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減ら し、一人ひとりの力や排泄のパター ン、習慣を活かして、トイレでの排 泄や排泄の自立に向けた支援を行っ ている	それが、たを居るな神で、たから、たを居るなかが、たっとが、たっとのが、たっとのが、たっとのが、たっとのでは、たっとのでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こ	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解 し、飲食物の工夫や運動への働きか け等、個々に応じた予防に取り組ん でいる	毎日の食事やがけ、自までは、自までは、自までは、 は、 は	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに 合わせて入浴を楽しめるように、職 員の都合で曜日や時間帯を決めてし まわずに、個々に応じた入浴の支援 をしている	入浴剤の状曜日と の状曜日と 大浴出いると 大浴出いると 大浴出いると 大浴出いると 大浴出いると 大谷 大谷 大谷 大谷 大谷 大谷 大谷 大谷 大谷 大谷	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安心 して気持ちよく眠れるよう支援して いる	「よくがびをよっと 食べるしまからない。 もったいかではないでは、 りょのではでいる。 がはないでいる がはないる がでいる	
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目 的や副作用、用法や用量について理 解しており、服薬の支援と症状の変 化の確認に努めている	薬に対する意識は 高く、副作用・用 途を出来る限開 握し、新しく開 始・中過をしれた際 には経し、記録に 残すように心がけ ている。	

40		○勿虫□ 水しカデルの士極		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ご せるように、一人ひとりの生活歴や 力を活かした役割、嗜好品、楽しみ ごと、気分転換等の支援をしている	個々の生活歴を大切にしいる新しい役割をもれぞれが「私の新しいでもあり、他割を持たが、「私のおり、出いない。」というといいない。 というというというというというという。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に 努めている。また、普段は行けない ような場所でも、本人の希望を把握 し、家族や地域の人々と協力しなが ら出かけられるように支援している	入居者のみな「花を買いに行きたい」「100円のお店に連れて」と外がです。 では、「100円のお店に連外でする機会がよった。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの 大切さを理解しており、一人ひとり の希望や力に応じて、お金を所持し たり使えるように支援している	可能のでは、 するのでは、 するのでは、 するのでは、 するのでは、 するのでは、 するのでは、 するのでは、 するのでは、 ないないが、 ないないないが、 ないないないが、 ないないないが、 ないないないないが、 ないないないないが、 ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話 をしたり、手紙のやり取りができる ように支援をしている	ご本人の希望 に応じて電話 を取り継紙を出 しに行る。	
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、 台所、食堂、浴室、トイレ等)が、 利用者にとって不快や混乱をまねく ような刺激(音、光、色、広さ、温 度など)がないように配慮し、生活 感や季節感を採り入れて、居心地よ く過ごせるような工夫をしている	ソフ向居ない。 ・ で、問しないのでは、 ・ で、問しないのでで、 ・ で、問しないのでで、 ・ で、おしいのででで、 ・ で、おしいのででででででででいる。 ・ ででいるできないできないでででいる。 ・ ででいるできないできないできない。 ・ でいるでは、 ・ でいるでいるでいるでは、 ・ でいるでは、 ・ でいるでは、 ・ でいるでは、 ・ でいるでいるでは、 ・ でいるでは、 ・ でいるではなではなでいなではなではなではなではなではなではなではなではなではなではなではなではなではな	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	それぞれのお気に 入りの空間にて過 ごされている。た まに2階に遊びに 行ったり、1階に 遊びに行ったり し、思いにの こされている。	

54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本 人や家族と相談しながら、使い慣れ たものや好みのものを活かして、本 人が居心地よく過ごせるような工夫 をしている	出来る限り馴みを持くいと を持くいり を持くいり ではいいし ではいいし でいいし でいいし でいいし でいいし でいいし でい	器た、族を		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な 環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できる こと」や「わかること」を活かし て、安全かつできるだけ自立した生 活が送れるように工夫している	それぞれの有する力 大限に生かせるよう 個々役割や出番・生 斐を支援しいいる。 に心がけてかられる も、速やかに落けるも 心して、環境づくりに ている。	にきよた時きらい時から		
	V	アウトカム項目				
56	VV	員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意 る。 参考項目:23,24,25)	で向を掴んで	0	2, 利用者の 3. 利用者の	この利用者の 02/3くらいの 01/3くらいの ご掴んでいない
57	利 <i>[</i>	用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面 参考項目:18, 38)	īがある。	0	1,毎日ある 2,数日に1 3.たまにあ 4.ほとんと	回程度ある
58	利 <i>」</i> (用者は、一人ひとりのペースで暮らしてレ 参考項目:38)	る。	0	2, 利用者σ	この利用者が 02/3くらいが 01/3くらいが ごいない
59	姿/	用者は、職員が支援することで生き生きと がみられている 参考項目:36,37)	した表情や		2, 利用者σ	この利用者が 02/3くらいが 01/3くらいが ごいない
60	利 <i>)</i> (用者は、戸外の行きたいところへ出かけて 参考項目:49)	こいる	0	2, 利用者σ	この利用者が D2/3くらいが D1/3くらいが ごいない
61	てし	用者は、健康管理や医療面、安全面で不多 いる。 参考項目:30,31)	でなく過ごせ	0	2, 利用者の	ての利用者が 02/3くらいが 01/3くらいが ごいない
62	ょ	用者は、その時々の状況や要望に応じた柔 り、安心して暮らせている。 参考項目:28)	に軟な支援に	0	2, 利用者σ	の利用者が 02/3くらいが 01/3くらいが ごいない
63	る、	員は、家族が困っていること、不安なこと ことをよく聴いており、信頼関係ができて 参考項目:9, 10, 19)	• •	0	1, ほぼ全て 2, 家族の2, 3. 家族の1,	ての家族と /3くらいと

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が 訪ねて来ている。 (参考項目:9,10,19)	0	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	0	 大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目:11,12)	0	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	0	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満 足していると思う。	0	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない